

4月18日(火)、3年生対象の「全国学力・学習状況調査」、6月20日(火)、1、2年生対象の「福岡県学力調査」が行われました。各調査の結果と、今後の学習指導の手立てについてお知らせいたします。なお、学力調査の結果は、学力のすべてではなく、特定の一部であるとされています。

### 全国学力・学習状況調査 (3年生対象) 結果

#### ① 学力調査平均正答率

本校の国語の平均正答率は、県平均、全国平均をやや上回っています。

本校の数学の平均正答率は、県平均、全国平均をやや上回っています。

本校の英語の平均正答率は、県平均、全国平均とほぼ同じです。

「国語」「数学」は昨年度と比べると上昇傾向にあります。なお、「英語」は昨年度実施されていません。

#### ② 学習状況調査

##### 『家庭学習の充実』

・平日の家庭学習時間が1時間以上の生徒の割合…肯定的な回答が県より低い。

・家庭では自分で計画を立てて勉強している…肯定的な回答が県よりやや低い。

→自学ノートやタブレットでの予習・復習の取組を行っていますが、まだ家庭学習の習慣が身に付いていません。予習を促す授業での仕掛けづくりや、タブレットドリルなどを活用した復習ができるよう取り組んでいきます。

#### ③ 各教科の分析と方策

##### <国語>

【文脈に即して漢字を書く】、【語句の意味を答える】問題に課題がみられました。無解答よりも、誤答が多いことから、文脈を考えずに解答している生徒が多いことがわかります。漢字や語句の意味を問う課題には前後の文を意識するよう指導し、学習の定着を図れるよう、より多くの課題に取り組めます。

##### <数学>

【数学の学習における用語の意味を理解する】問題に課題がみられました。用語の意味の理解は数学の学習の基本となるものです。今後の授業では、用語の意味を正しく理解するとともに、その用語を使って事象を説明したり、数学的に表現したりする力を育成していきます。

##### <英語>

【日常的な話題について必要な情報を聞き取る力】、【考えを整理してまとまりのある文章を書く力】に課題がみられました。1、2年の基礎内容に自信がないので、英文で表現するとなると始めから諦める傾向があります。授業では1、2年の文法事項を常に押さえ直して自信をもたせ、書く力を伸ばすよう取り組んでいきます。

### 県学力調査 (1年生、2年生対象) 結果

#### 【平均正答率】

2年生は国語、数学ともに、県平均とほぼ同じです。

1年生は国語、数学ともに、県平均をやや上回っています。

## 今後の学力向上の方策について（全教科を通して）

これまで学力向上の方策として、次の3点について取り組んできました。

- ① 生徒間で互いの理解を高めるために、各教科における教え合い活動の実施
- ② 情報を関連付けて思考を促すために、複数の情報（文章、表、図、グラフなど）を目的に応じて整理する場の設定
- ③ 基礎基本の定着のために、反復学習の実施

これらの取組を通して、今年度の3年生（全国学力学習状況調査）は全国平均を上回ることができ、2年生（県学力調査）は県平均以上の結果となりました。今後は、上記の3点の取組を継続しながら改善を行っていきます。また、更なる学力向上を目指し、次の3点について授業改善に取り組み、基礎学力の定着と課題解決学習を通して主体的に学習に取り組む生徒を育成していきます。

- ① 基礎学力を定着させるために、タブレットドリル等を活用した定期的な反復学習の実施
- ② 課題を解決するために他者と協働して、学び合う学習の場面の設定
- ③ 単元を通して『主体的・対話的で深い学び』につながる課題解決型学習を行い、生徒がものごとを自分事としてとらえ、より深く思考する場面の設定